

資料 No. 3

大規模更新事業（湊町付近）の対応方針

阪神高速道路株式会社

2026年 6月 5日

1. 事業概要
2. 施工状況報告
3. 残る3基の整備方針について 《審議》
4. 残る3基の整備内容
5. まとめ

(参考) 前回までの報告内容

1. 事業概要

2. 施工状況報告

3. 残る3基の整備方針について《審議》

4. 残る3基の整備内容

5. まとめ

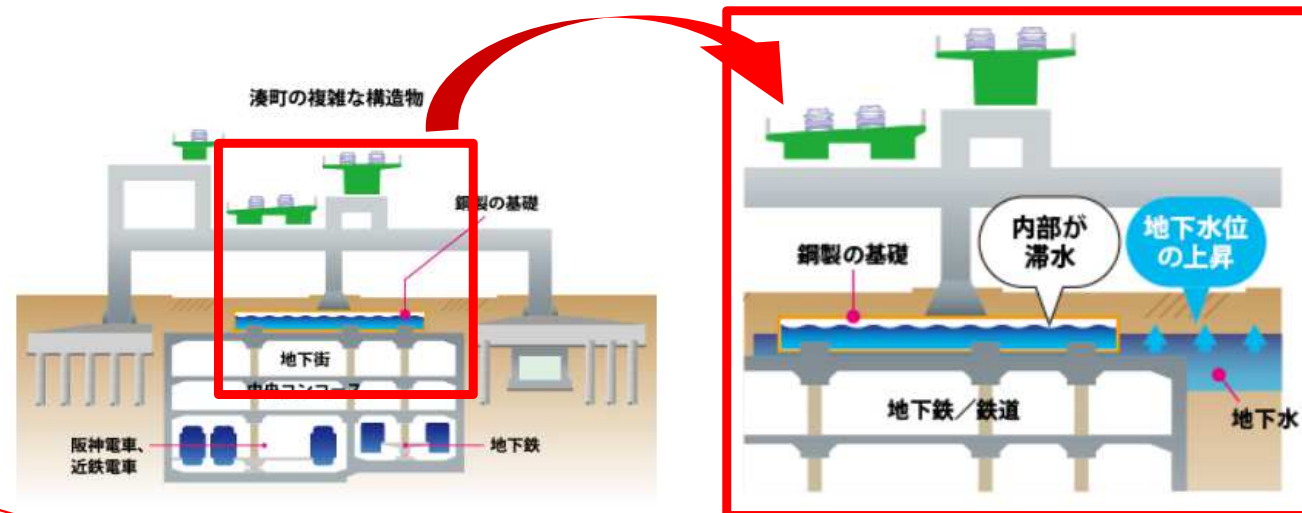
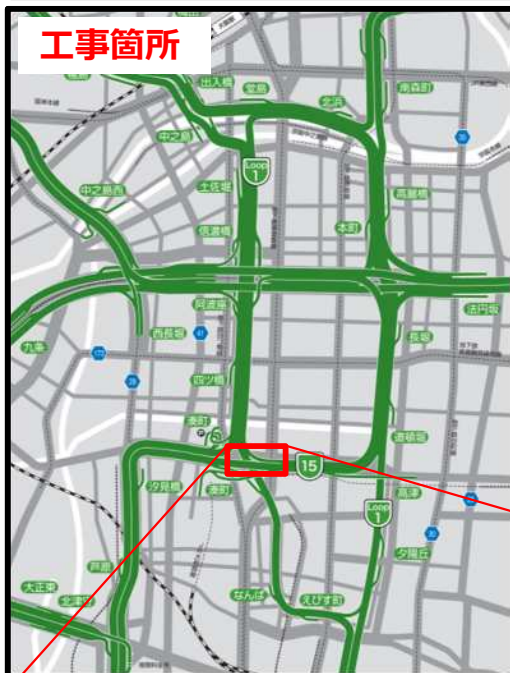
(参考) 前回までの報告内容

1. 事業概要

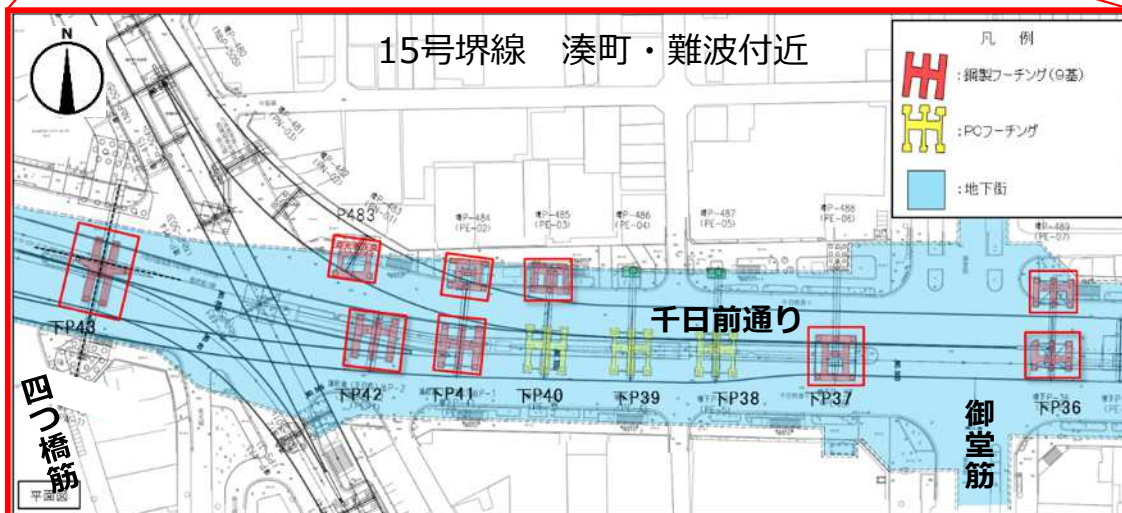
供用：1972年（昭和47年）

特徴：地下街の構造物に支持されることから、荷重軽減のため鋼製フーチングを採用（9基）

状況：供用後、地下水位の上昇があり、基礎内部に地下水が滞水し、腐食が発生



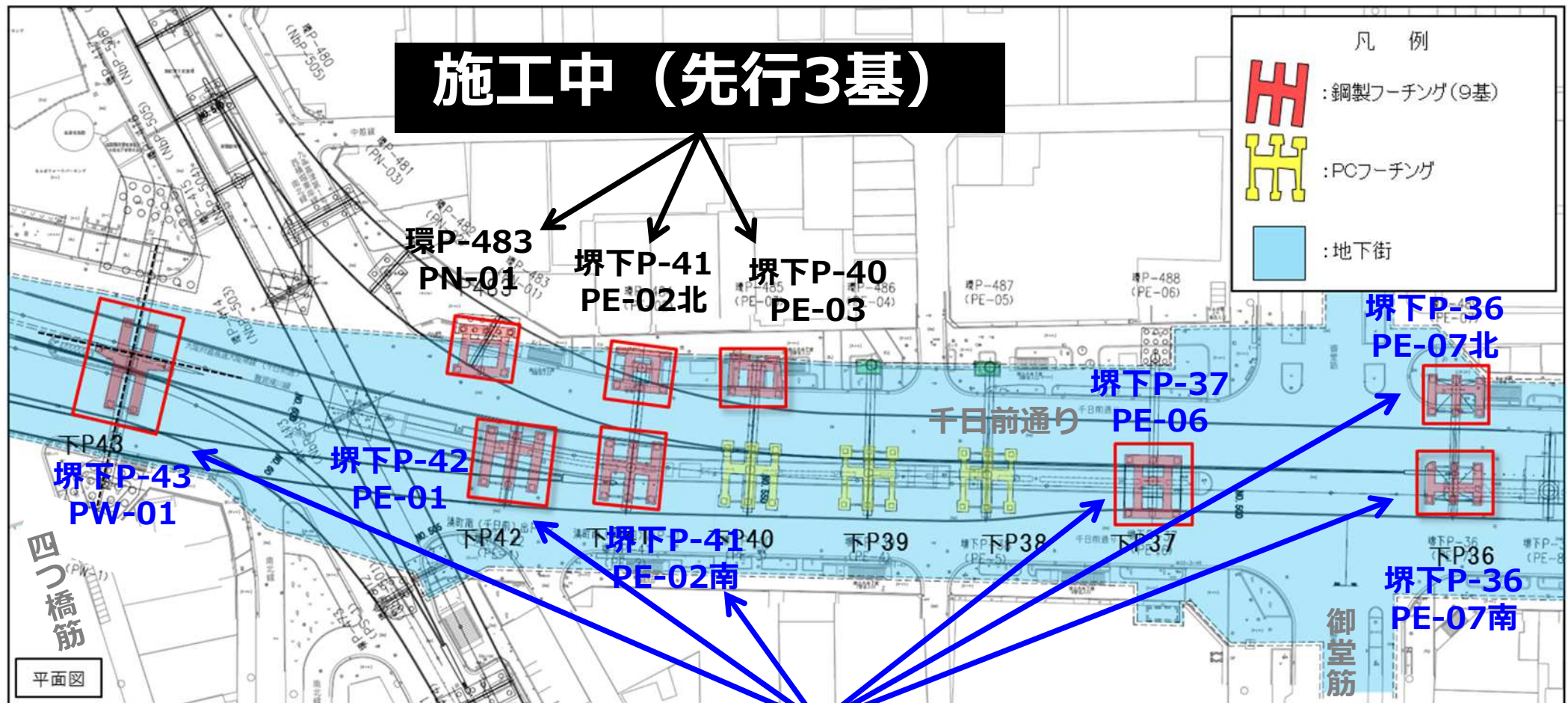
鋼製フーチング内部の腐食状況



長期耐久性の確保、永続性の確保、最新基準への適合を基本方針として、大規模更新工事を実施

1. 事業概要

千日前通りにおける四つ橋筋東側～御堂筋東側にある9基のうち
PN-01、PE-02北、PE-03北橋脚の鋼製フーチングを先行着手



➤ 実施方針

健全性の評価

過年度の詳細調査結果より
鋼製フーチングは減肉些少

永續性の確保

止水対策・防食対策が必要
点検・管理を容易に

安心・安全な構造物へ

更新基本形

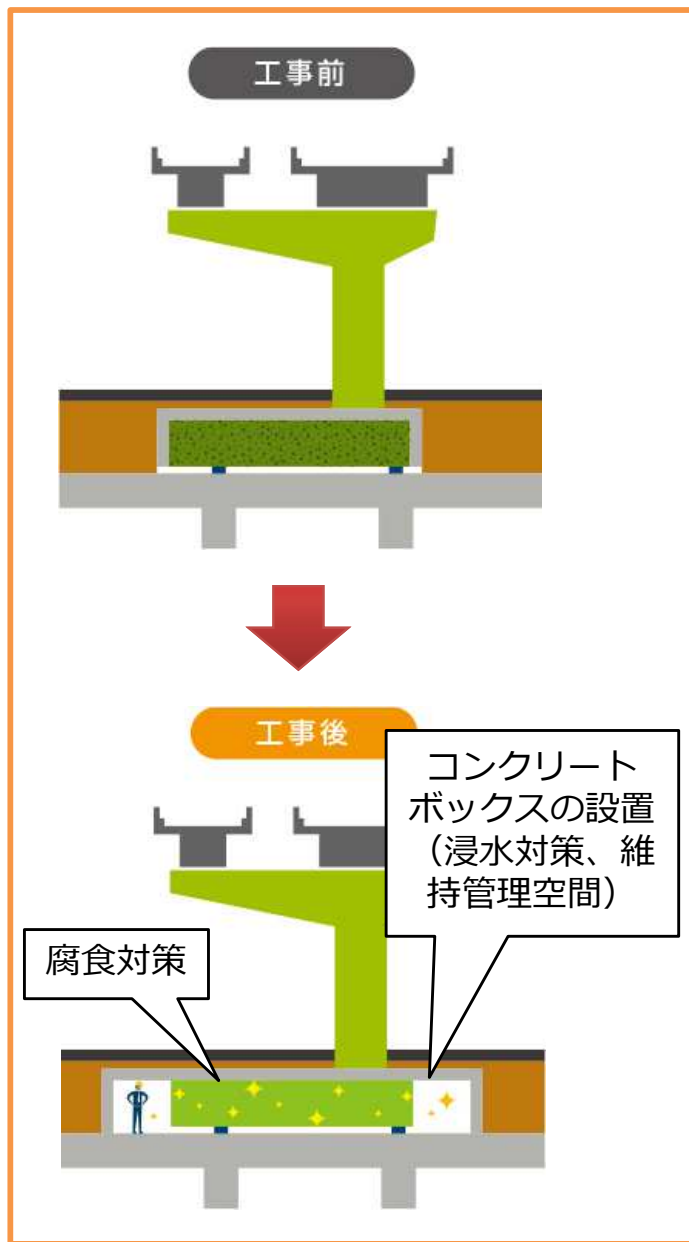
・ 鋼製フーチング本体は最大限
活用（支承等は必要に応じ更新）

・ 管理用BOX設置による遮水
壁の設置（維持管理空間も可能
な限り確保）

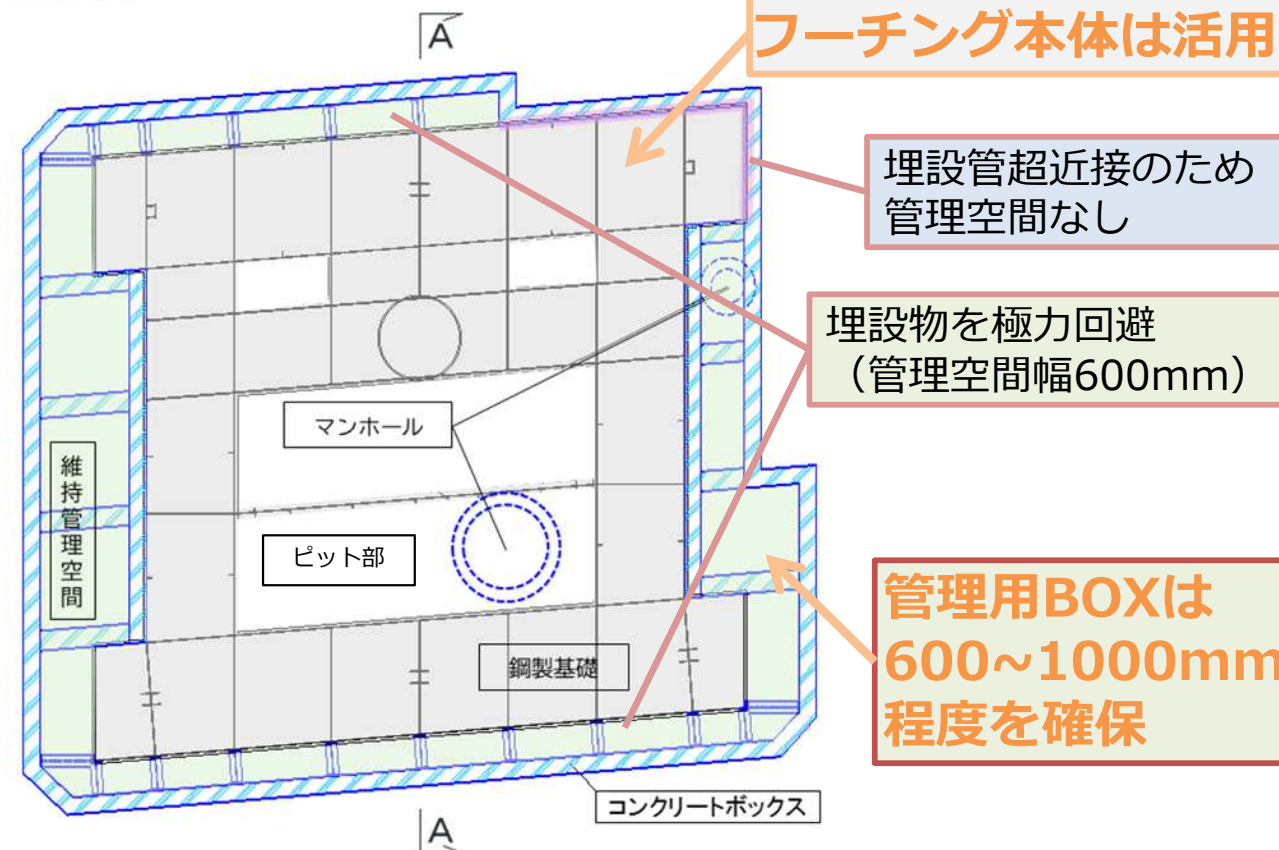
最新基準を満足する
構造物へ改造
→ 耐震性の確保

1. 事業概要

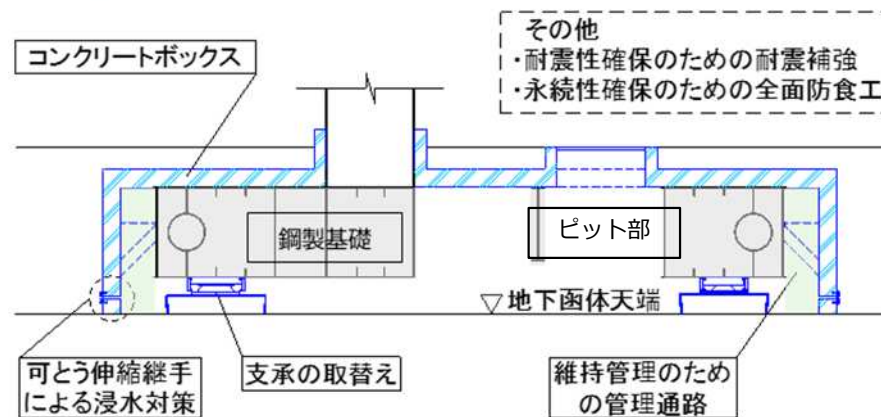
➤ 更新基本形 (例：PN-01)



平面図



A-A断面



既存鋼製基礎活用による効果

・既存鋼製基礎の活用は、下記の観点からも優位と思料。

◆工期

- ・鋼製基礎の取替時に必要となる仮受工が削減できることから、工期短縮が見込まれる。

◆社会的影響

- ・街路通行規制が大規模になると想定される仮橋脚の設置撤去や既設基礎撤去の削減、及び工程短縮に伴う交通規制期間短縮による交通影響の軽減が見込まれる。
- ・仮受け工の削減に伴い掘削範囲が減少することから、支障移設が必要となる地下埋設管の減少が見込まれる。
- ・コンクリート基礎への取替による地下函体への荷重増がないことから、地下街店舗の休業を伴う地下函体の補強工事が不要となる。

◆その他

- ・仮受け工の削減によりコスト縮減が見込まれる。
- ・維持管理空間の設置に伴う維持管理性の向上が見込まれる。

1. 事業概要

2. 施工状況報告

3. 残る3基の整備方針について《審議》

4. 残る3基の整備内容

5. まとめ

(参考) 前回までの報告内容

2. 施工状況報告

施工フロー

STEP 1

STEP 1
土留め工・掘削・覆工板設置

土が崩れないように土留めを設置した後に、掘削を掘削し、覆工板を設置します。



支障物撤去・仮移設

舗装嵩上げ

土留（止水壁）設置

路面覆工・掘削

支障となる樹木・花壇等の撤去、バス停・駐輪場・タクシー乗り場等の仮移設を行う。

路面覆工設置高さに合わせて現況道路を嵩上げする。掘削範囲の土留及び地下水浸入防止を目的とした止水壁を設置する。

路面覆工を設置し、鋼製フーチング周囲を掘削する。

STEP 2

STEP 2
保護コンクリート撤去

覆工板下で鋼製フーチングの周囲にある保護コンクリートを撤去します。



保護コンクリート撤去

鋼製フーチング外面の既設保護コンクリートを撤去する。（ウォータージェット・ワイヤー）

STEP 3
3～4

STEP 3
錆・塗装の除去

鋼製フーチングに発生している錆を除去するために、プラスト工法で錆を除去します。



STEP 4
防食工

鉄筋に金属を溶射することで、防食効果（錆止め）を付加します。



支承改良

既設の支承を新設の支承に取り替える。

防食工

フーチング内・外面の錆・既設塗装を除去し、新たに防食工（金属溶射・塗装）を施工。

STEP 5

STEP 5
躯体コンクリート工

維持管理用空間を確保するためのコンクリートボックスを構築します。



躯体コンクリート

維持管理空間を兼ねた止水コンクリートボックスを構築する。

防水工

構築したコンクリートボックス全体に防水工（ウレタン系塗膜防水）を施工する。

STEP 6

STEP 6
埋め戻し・復旧工

掘削した土の埋め戻しを行い、舗装等を復旧します。



埋戻し・路面覆工撤去

埋戻しを行い、路面覆工を撤去する。

ここまで完了

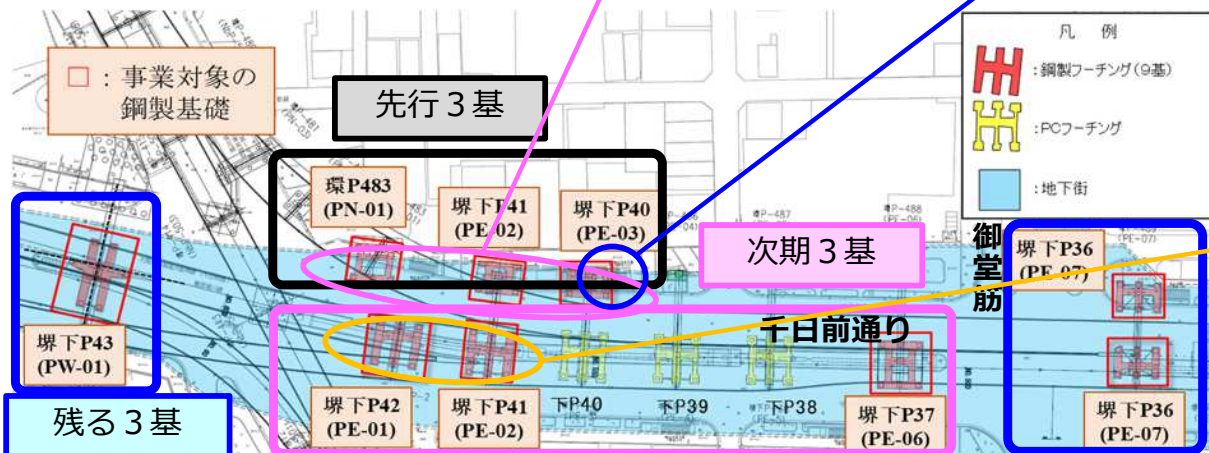
仮設撤去・仮舗装

撤去可能な仮設土留めを撤去し、施工範囲全体の仮舗装を行う。

2. 施工状況報告

埋戻し・路面覆工撤去

2024年12月～



1. 事業概要

2. 施工状況報告

3. 残る3基の整備方針について 《審議》

4. 残る3基の整備内容

5. まとめ

(参考) 前回までの報告内容

3. 残る3基の整備方針について 《審議》

鋼製基礎の更新基本形

実施方針

健全性の評価

過年度の詳細調査結果より
鋼製フーチングは減肉些少

鋼製フーチング本体は最大限
活用（支承等は必要に応じ更新）

持続性の確保

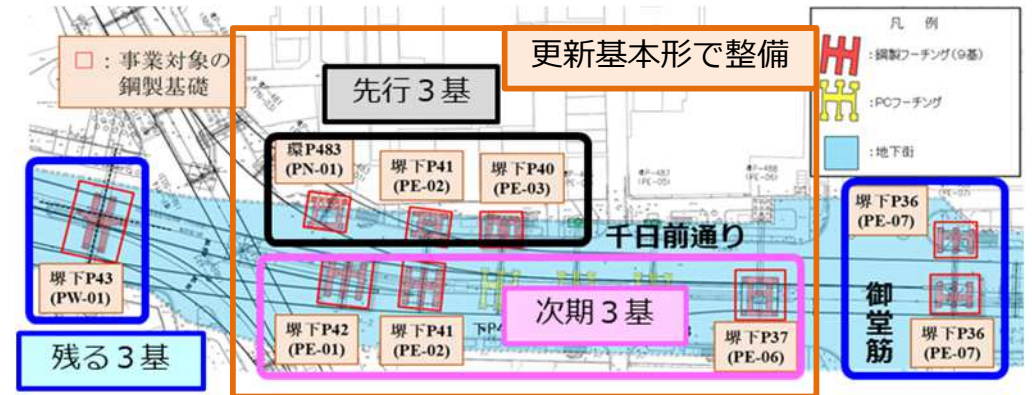
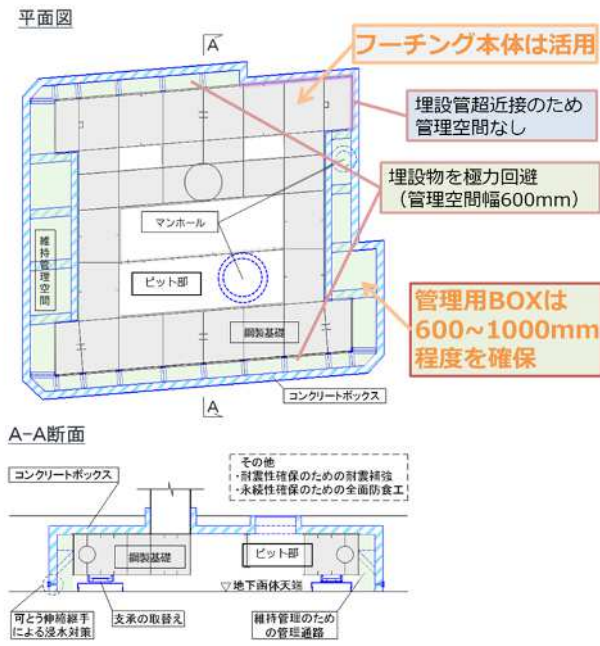
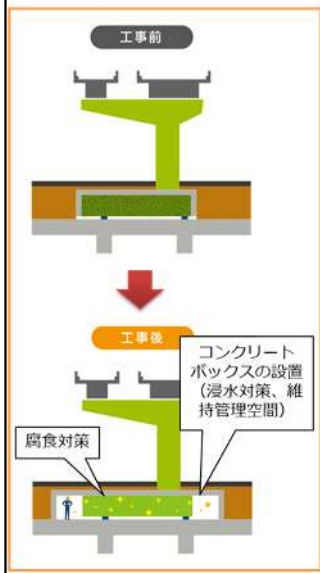
止水対策・防食対策が必要
点検・管理を容易に

管理用BOX設置による遮水
壁の設置（維持管理空間も可能
な限り確保）

安心・安全な構造物へ

最新基準を満足する
構造物へ改造
→耐震性の確保

更新基本形 (例：PN-01)



- 先行3基及び次期3基については左の更新基本形にて整備。
- 残る3基については、前回参考報告したとおり基礎の腐食・滞水状況や耐震性能照査結果が他の6基と異なる状況であったことから、それを反映し整備方針を一部異なる内容とする（本日の審議内容）。

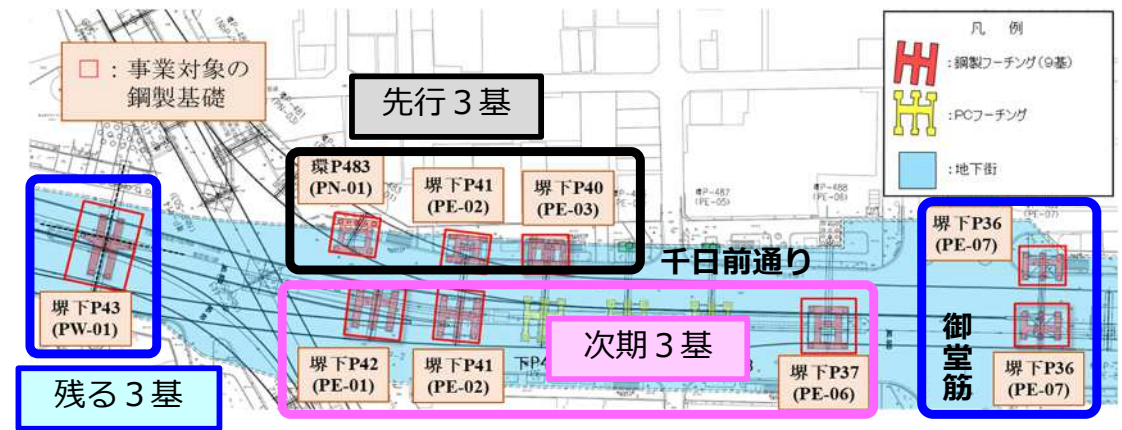
鋼製基礎本体は活用。

腐食・滞水の程度が小さいことからBOXカルバートの設置は行わない。
鋼製基礎内部の防食工は実施。

一部支承において耐力が不足することが確認された水平力分担構造の交換を実施。
当て板補強やコンクリート充填、支承取替等は現況で耐震性能を満足することから実施しない。

3. 残る3基の整備方針について 《審議》

後行6基の整備方針に係る 審議状況について



審議内容	長期維持管理 技術委員会 (事業としての観点)	鋼構造分科会 (技術的観点)
<ul style="list-style-type: none"> 次期3基 (PE-01、PE-02南、PE-06) については鋼製基礎の調査・検討結果が先行3基 (PN-01、PE-02北、PE-03) と同様であったことから、同じ整備方針とすることとする。 残りの3基 (PW-01、PE-07北、PE-07南) については、基礎の腐食の程度が小さく耐震補強が不要なことなど他の6基と状況が異なることから、整備方針を検討のうえ審議することとした。 	<p>2024年度 第1回 2025.2.19</p>	<p>2023・2024年度 第5回 2024.12.25</p>
<p>本日の審議内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 残りの3基について、基礎の腐食の程度が小さいことや耐震補強が不要なことなど、他の6基と状況が異なることから、更新基本形とは一部異なる整備内容とする。 腐食・滞水の程度が小さいことから、BOXカルバートの設置を行わないこととする。 	<p>2026年度 第1回 2026.6.5</p>	<p>2025・2026年度 第3回 2026.3.17 審議済み</p>

3. 残る3基の整備方針について 《審議》

残る3基の整備方針

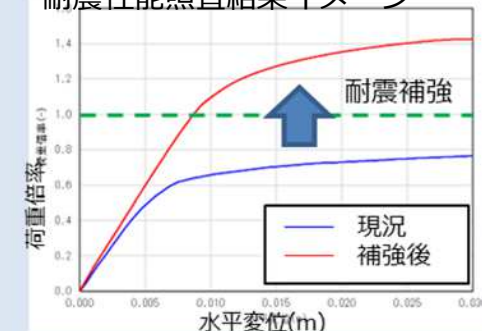
① 調査・検討の実施（前回までに報告済み）

- 鋼製基礎の内部調査
- 保護コンクリートの健全性調査
- 支承の健全性調査
- 耐震検討

鋼製基礎内部内部結果イメージ



耐震性能照査結果イメージ



② 調査・検討結果の整理（前回までに報告済み）

①で実施した調査・検討結果の整理

残る3基の結果（再掲・加筆） ←本日の説明内容

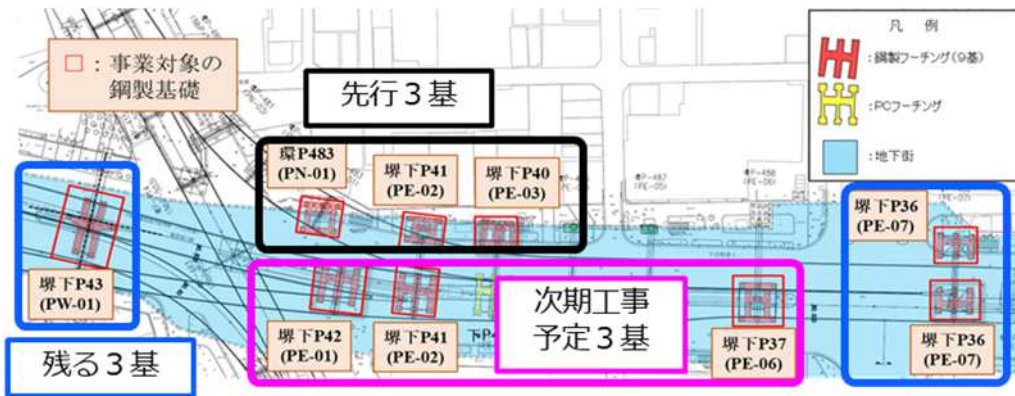
	残る3基			次期3基			先行3基		
	PW-01	PE-07北	PE-07南	PE-01	PE-02南	PE-06南	PN-01	PE-02北	PE-03北
滞水 (函体天端からの高さ)	なし	あり 数cm程度	あり 数cm程度	あり 950mm	あり 970mm	あり 980mm	あり 1200~1420mm	あり 1100mm	あり 1040mm
鋼製基礎の腐食状況 及び腐食進行状況	小 腐食の進行は見られない	小 腐食の進行は見られない	小 腐食の進行は見られない	大 ところどころ腐食の進行が見られる	大 ところどころ腐食の進行が見られる	大 ところどころ腐食の進行が見られる	大 下フランジに腐食	大 下フランジに腐食	大 下フランジに腐食
保護コンクリート	-	-	-	-	-	-	概ね健全	概ね健全	概ね健全
既設支承	-	-	-	-	-	-	概ね健全	-	-
負反力対策の必要性	不要	不要	不要	必要	不要	不要	必要	必要	必要
鋼製基礎の耐震補強	不要	不要	不要	必要	必要	不要	必要	必要	必要

③ 整備方針の検討

先行3基、**次期工事3基**の整備方針（前回までに報告済み）

残る3基の整備方針（今回審議） ←本日の説明内容

3. 残る3基の整備方針について 《審議》



審議内容	長期維持管理技術委員会 (事業としての観点)	鋼構造分科会 (技術的観点)
<ul style="list-style-type: none"> 次期3基 (PE-01、PE-02南、PE-06) については鋼製基礎の調査・検討結果が先行3基 (PN-01、PE-02北、PE-03) と同様であったことから、同じ整備方針とすることとする。 残りの3基 (PW-01、PE-07北、PE-07南) については、基礎の腐食の程度が小さく耐震補強が不要なことなど他の6基と状況が異なることから、整備方針を検討のうえ審議することとした。 	2024年度 第1回 2025.2.19	2023・2024年度 第5回 2024.12.25
本日の審議内容 <ul style="list-style-type: none"> 残りの3基について、基礎の腐食の程度が小さいことや耐震補強が不要なことなど、他の6基と状況が異なることから、更新基本形とは一部異なる整備内容とする。 腐食・滞水の程度が小さいことから、BOXカルバートの設置を行わないこととする。 	2026年度 第1回 2026.6.5	2025・2026年度 第3回 2026.3.17 審議済み

鋼製基礎の内部調査、保護コンクリート・支承の健全性調査、耐震性能照査結果一覧（鋼構造分科会にて審議・承認済み）

	残る3基			次期3基			先行3基		
	PW-01	PE-07北	PE-07南	PE-01	PE-02南	PE-06南	PN-01	PE-02北	PE-03北
滞水 (函体天端からの高さ)	なし	あり 数cm程度	あり 数cm程度	あり 950mm	あり 970mm	あり 980mm	あり 1200~1420mm	あり 1100mm	あり 1040mm
鋼製基礎の腐食状況 及び腐食進行状況	小 腐食の進行は見られない	小 腐食の進行は見られない	小 腐食の進行は見られない	大 ところどころ腐食の進行が見られる	大 ところどころ腐食の進行が見られる	大 ところどころ腐食の進行が見られる	大 下フランジに腐食	大 下フランジに腐食	大 下フランジに腐食
保護コンクリート	-	-	-	-	-	-	概ね健全	概ね健全	概ね健全
既設支承	-	-	-	-	-	-	概ね健全	-	-
負反力対策の必要性	不要	不要	不要	必要	不要	不要	必要	必要	必要
鋼製基礎の耐震補強	不要	不要	不要	必要	必要	不要	必要	必要	必要

残る3基については、

- 鋼製基礎の滞水、腐食状況
- 支承の負反力対策の必要性
- 鋼製基礎の耐震補強の必要性

滞水・腐食の程度が小さい

負反力対策不要

耐震補強不要

において先行3基及び次期工事3基と状況が異なることから、周辺状況等も考慮し、事業として総合的に勘案して整備方針を検討。

3. 残る3基の整備方針について 《審議》

残る3基の整備方針について

更新基本形との相違点

項目	PW-01	PE-07北	PE-07南	更新基本形
BOXカルバートの設置※ 維持管理用空間の設置	設置しない	設置しない	設置しない	設置
保護コンクリート撤去	施工上開口部が必要な範囲のみ撤去・復旧	施工上開口部が必要な範囲のみ撤去・復旧	施工上開口部が必要な範囲のみ撤去・復旧	撤去
防食工	鋼製基礎内面防食	鋼製基礎内面防食 支承部電気防食	鋼製基礎内面防食 支承部電気防食	鋼製基礎内外面防食
支承取替 (耐久性能)	実施しない	実施しない 水平力分担構造交換	実施しない 水平力分担構造交換	必要に応じて実施
耐震補強 (耐荷性能)	実施しない	実施しない	実施しない	必要に応じて実施
その他	—	マンホール・パッキン交換 マンホール移設	マンホール・パッキン交換	必要に応じて当て板補強・コンクリート充填等の耐震補強

※BOXカルバート及び維持管理用空間の設置を行わないことから、残る3基については全体的な掘削は行わず、施工上必要な範囲のみの掘削とする。

1. 事業概要
2. 施工状況報告
3. 残る3基の整備方針について 《審議》
4. 残る3基の整備内容
- 5. まとめ**

(参考) 前回までの報告内容

5. まとめ 《審議事項》

残る3基の整備方針について（再掲）

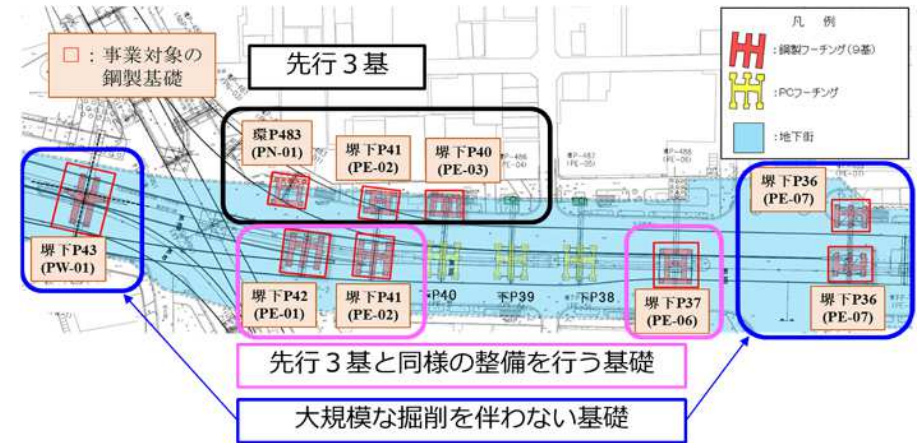
更新基本形からの主な変更点

項目	PW-01	PE-07北	PE-07南	更新基本形
BOXカルバートの設置※ 維持管理用空間の設置	設置しない	設置しない	設置しない	設置
保護コンクリート撤去	施工上開口部が必要な範囲のみ撤去・復旧	施工上開口部が必要な範囲のみ撤去・復旧	施工上開口部が必要な範囲のみ撤去・復旧	撤去
防食工	鋼製基礎内面防食	鋼製基礎内面防食 支承部電気防食	鋼製基礎内面防食 支承部電気防食	鋼製基礎内外面防食
支承取替 (耐久性能)	実施しない	実施しない 水平力分担構造交換	実施しない 水平力分担構造交換	必要に応じて実施
耐震補強 (耐荷性能)	実施しない	実施しない	実施しない	必要に応じて実施
その他	—	マンホール・パッキン交換 マンホール移設	マンホール・パッキン交換	必要に応じて当て板補強・コンクリート充填等の耐震補強

※BOXカルバート及び維持管理用空間の設置を行わないことから、残る3基については全体的な掘削は行わず、施工上必要な範囲のみの掘削とする。

5. まとめ

(参考) 全9基の整備方針一覧



項目	残る3基			次期3基			先行3基		
	PW-01	PE-07北	PE-07南	PE-01	PE-02南	PE-06	PN-01	PE-02北	PE-03
BOXカルバート・維持管理用空間の設置	設置しない	設置しない	設置しない	設置	設置	設置	設置	設置	設置
防食工	鋼製基礎内面	鋼製基礎内面 支承部電気防食	鋼製基礎内面 支承部電気防食	鋼製基礎内外面	鋼製基礎内外面	鋼製基礎内外面	鋼製基礎内外面	鋼製基礎内外面	鋼製基礎内外面
支承取替	実施しない	実施しない ストッパー交換	実施しない ストッパー交換	実施	実施	実施	実施	実施	実施
耐震補強	実施しない	実施しない	実施しない	コンクリート充填 当て板補強	コンクリート充填	実施しない	コンクリート充填	コンクリート充填 当て板補強	コンクリート充填